Interview

福祉系出身と
福祉系以外出身の２人

同期×同期

多面的な視点が求められるから どんな経験も活かせる仕事

本会には、大学などで福祉を学んだ“福祉系”出身者だけでなく、違う分野を勉強して入職した“福祉系以外”出身者もたくさんいます。異なる専門性を持つ同期の２人が、社協の仕事を語ります。

（所属・役職は 2021 年 3 月現在）

名古屋市昭和区社会福祉協議会
柴田（しばた） 恵実（めぐみ）
（2016 年 4 月採用：主事）
法学部卒業

▶ 課題解決に向けて、日々勉強

――大学で学んだことは？

柴田：大学では法律全般を勉強しました。福祉に興味を持ったのは、社会保障法を学んだことがきっかけです。ゼミでは、ニートやひきこもりの若者が、どのようにして就労につながっていくのかを研究しました。

市川：大学では福祉を専攻し、社会福祉に関する法律や政策、相談援助に関する手法など様々なことを学びました。また、社会福祉士と精神保健福祉士の国家資格の取得に向け友人と共に勉強し、病院や障がい者施設での実習も経験しました。

――入職直後の苦労は？

市川：私は、地域福祉推進部という16区社協や市内の団体・施設の事業や活動等が活性化するように企画、調整を行う部署で働いています。現場経験がない中で16区社協が円滑に事業を進めることができるよう、事業方針等を示すことは、しんどいこともありましたが、先輩に教わりながら少しずつできることを増やしていきました。

柴田：私は、現場である区社協で働いています。最初の壁は地域福祉の専門用語で、職場で日常的に使われる「ミンセイサン」「スイシンキョウ」の意味を調べることから始まりました。

▶ お互いの異なる視点や意見が刺激に

――“福祉系”“福祉系以外”ならではのメリット･デメリットは?

柴田：一時的に生活に困窮した世帯向けの生活福祉資金の貸付業務を担当していますが、民法が関係する部分の法律用語につまずくことなく、業務をすんなり理解できたことはよかったです。その一方で、入職時、福祉の制度に関する知識はほとんどなかったので、仕事の合間に、制度紹介の冊子やホームページを見て必死に勉強しました。

市川：“福祉系” 出身でよかったと思うことは、福祉制度等を理解していたため、相談内容に対して紹介する相談窓口や相談者の状況からどのような特性をお持ちの方なのかをある程度予想ができたことです。ただ、それはデメリットにもなり、大学の講義や教科書どおりに、「この特性は〇〇かもしれない」と推測で物事を考えてしまいがちです。福祉系以外出身の方の見立てを伺うと、新たに気付かされることがたくさんあります。

――職場に両者が混在しているからこその強みは？

柴田：私は福祉に関してまだまだ知識が少ないので、専門知識のある同僚にはいつも助けてもらっています。でも、福祉系以外出身だからこその視点も持っていたいと思っています。以前、他機関から「がんを患って自宅療養中の方への支援をボランティアさんにお願いしたい」と相談を受け、上司と相談して断ったことがあります。その理由は、支援をする時間帯が一定でなく、突発的であるためボランティアさんの負担が大きすぎると判断したからです。支援される側だけでなく、支援する側にも限界があり、生活があります。ボランティアさんの調整は、その視点も忘れないよう心掛けています。

市川：確かに私たち福祉系出身者は、問題をすぐに解決することに気を取られがちです。しかし、福祉系以外出身者の視点や考えに触れることで、その方が何を望んでいるのかじっくりと向き合うことの大切さに改めて気づくことができました。

――今、がんばりたいと思っていることは？

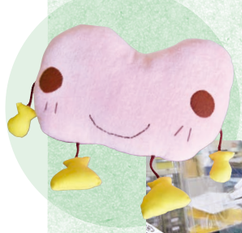
市川：コロナ禍において、人々のつながりの重要性が再認識されているため、担当するサロン(居場所づくり)や子ども食堂の活動状況を把握しつつ、つながりつづける手法を模索していきピンチをチャンスに変えて様々な展開を見つけていきたいです。

柴田：いかに若い人たちに社協を知ってもらい、地域での活動に興味をもってもらうかということを課題に感じています。組織的に情報発信するには内容や対象者、方法を十分に検討しておくことが必要なので、例えば上手なSNSの活用方法等を考えていきたいです。

――仕事やプライベートではどんな関係？

柴田：サロンの運営者を対象に、学習・交流のイベントを開催した際に、市川さんが見に来てくれたことがあります。仕事の場で会えるのはうれしいのはもちろん、気軽に相談ができるのはありがたいですね。

市川：職場がバラバラな同期と仕事で会う回数自体は少ないので、定期的に同期会を開いています。同期は全員同い年で仲が良く、なんでも話せて毎回楽しい時間です。



名古屋市昭和区社会福祉協議会
キャラクター
“こころん”

名古屋市社会福祉協議会 地域福祉推進部
市川（いちかわ） 真理子（まりこ）
（2016 年 4 月採用：主事）
福祉関係学部卒業